

令和 7 年度 社会福祉法人妙心福祉会 事業執行報告

I 理事会・評議員会等の動向

1 理事会及び評議員会等の開催状況

令和 7 年度において、下記のとおり理事会等を開催し、適正な運営に努めました。

年月日・会場等	内 容	摘 要
令和 7 年 5 月 15 日 10:00～ 特養ブナの里 会議室	監事監査 ・ 令和 6 年度事業報告 ・ 令和 6 年度収支決算	監事 2 名 常務理事・施設 長 事務担当者
令和 7 年 6 月 12 日 13:30～特養ブナの里 会議室	令和 7 年度第 1 回理事会 ・ 令和 6 年度事業報告(案)について ・ 令和 6 年度収支決算(案)について ・ 理事及び監事の候補者の選考(案)について ・ 評議員選任候補者の推薦(案)について ・ 評議員選任・解任委員会の外部委員の選任(案) について ・ 評議員選任・解任委員会の招集について ・ 令和 7 年度第一回評議員会への提案議題等につ いて	承認
令和 7 年 6 月 19 日 10:00～ 特養ブナの里 会議室	令和 7 年度第 1 回評議員選任・解任委員会 ・ 社会福祉法人妙心福祉会評議員の選任(案)につ いて	承認
令和 7 年 6 月 27 日 13:30～特養ブナの里 2F 多目的ホール	令和 7 年度第一回評議員会 ・ 令和 6 年度事業報告(案)について ・ 令和 6 年度収支決算(案)について ・ 理事及び監事の選任(案)について ・ 報告第一号 評議員選任・解任委員会の外部委 員の選任について ・ 報告第二号 評議員の選任について	承認
令和 7 年 7 月 10 日 書面審査	令和 7 年度第 2 回理事会 ・ 理事長の選定について ・ 業務執行理事(常務理事)の選定について	承認 (全員一致)

令和7年10月2日 13:30～特養ブナの里 1F 会議室	令和7年度第3回理事会 ・報告第1号 令和7年度上半期事業執行報告について	承認
令和8年2月3日 13:30～特養ブナの里 1F 会議室	令和7年度第4回理事会 ・令和7年度補正予算(案)について ・令和7年度第2回評議員会の提案議題等について	承認
令和8年2月18日 書面審査	令和7年度第2回評議員会 ・令和7年度補正予算(案)について	承認 (全員一致)
令和8年3月12日 13:30～特養ブナの里 1F 会議室	令和7年度第5回理事会 ・令和8年度事業計画(案)について ・令和8年度収支予算(案)について ・令和7年度第3回評議員会の提案議題等について	承認
令和8年3月27日 13:30～特養ブナの里 2F 多目的ホール	令和7年度第3回評議員会 ・令和8年度事業計画(案)について ・令和8年度収支予算(案)について	承認

2 新体制による施設経営

令和7年度は、理事、監事、評議員及び評議員選任・解任委員において、それぞれ任期満了に伴い、次の候補者選定が行われました。現在の理事、監事、評議員及び評議員選任・解任委員の方々は、次の任期において継続されることが承認されました。また、第2回理事会(書面審査)において、梨本理事が理事長に、上野理事が業務執行理事にそれぞれ選定されました。

Ⅱ 法人経営の健全化に向けた取組み

1 経営改善の取組み

令和4年6月に策定した「中期経営計画」に沿って経営改善に鋭意取り組みました。令和7年度決算は、厳しい環境のなか赤字決算を予想していましたが、令和8年3月の月間収支が大幅に改善したこと、全体収支では一転してほぼトントンとなりました。職員の皆さんが人手不足のなか、しっかりと業務を遂行してくれたことが大きな要因と思料します。

(1) 業務改善の定着化

令和5年度から足元の業務改善を進めていますが、令和7年度も各ユニットリーダーへ「チームとしての業務改善」に取り組むこと、また、各職員においても目標シートによる業務改善項目を設定し、日常活動の業務改善に引き続き取り組みました。業務改善の定着化を進めています。

(2) 「業務改善プロジェクトチーム」の活動

令和7年度については、当施設開設以来初めてベースアップを実施しました。またパート職員へは令和7年10月に時給を引き上げました。人手不足により職員の負担が増える中、職員に資する処遇改善が必要であり、これに応えるものです。また、給食費においては、一人当たり1日1,500円を、150円引き上げ1,650円(令和8年4月1日より実施)とし、給食費の赤字会計の解消に取り組みました。

2 収益確保のための稼働率向上

(1) 特別養護老人ホームブナの里の稼働率

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R6	97.2	97.7	96.9	95.9	97.5	99.6	100.0	99.3	99.8	98.8	97.9	97.0	98.1
R7	94.6	94.0	94.9	91.8	96.7	98.7	95.6	94.7	97.5	95.1	97.8	98.1	95.8

○稼働率向上の取組み（令和7年度計画の目標稼働率98.0%）

けいなん総合病院、地域医療センター病院、信越病院等病院のソーシャルワーカーとの繋がりを強化して来ましたが、令和7年3月から5月にかけて退所者が急増したことから令和7年度は、4月から94.6%の稼働率となり7月までの4カ月平均稼働率も93.8%と大変厳しい状況となりました。また、令和7年10月後半から10月末にかけてコロナ感染症の集団感染もありました。年明け新年度に入ってから、稼働率も回復傾向となり令和8年3月では98.1%と回復しました。

しかし、退所者については前年比大幅な増加(年度合計41人、前年比+15人)となり、かつ入院者も前年比大きく増加(年度合計33人、前年比+16人)しました。このため、令和7年度の平均稼働率は大きく低下し、収入面も大幅な減収となりました。

(2) ショートステイブナの里の稼働率

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R6	65.8	57.6	69.7	72.7	77.3	78.7	75.0	80.5	81.3	94.0	91.1	73.4	76.4
R7	56.5	52.1	53.5	59.0	63.7	63.7	54.5	65.2	73.2	73.7	86.1	82.7	65.3

○稼働率向上の取組み（令和7年度計画の目標稼働率78.0%）

特養と同じく訪問営業を展開してきましたが、令和7年4月からの稼働率は7月まで50%台(4カ月平均55.3%)とほぼ半分の稼働率となりました。前年と比べると(同4カ月平均66.4%) -11.1%の大幅なマイナスの状況となりました。その後は60%～70%台となり令和8年3月では82.7%と回復しましたが、令和7年度平均稼働率は

特養と同じく前年比大幅減少となり、収入面も大きな減収となりました。

3 令和7年度の事業収支について

事業収支の実績は、別紙のとおりです。令和7年度は4月から厳しいスタートとなりました。厳しい環境のなか、退所人数や入院者の増加等から稼働率が低下し、収入面で大幅な減収となりました。このため今期決算については、赤字決算を予想していましたが、令和8年3月の月間収支が大幅に改善、令和8年3月決算では一転して収支はほぼトントン（-480千円）となりました。また、事業活動計算書では経常利益が25百万円、当期利益は16百万円の黒字決算となりました。

Ⅲ 施設運営の具体的な取組み

1 職員処遇の改善

令和3年度決算から4年連続の黒字決算となったことを受けて、令和7年度は、職員の頑張りに報いるべくベースアップを実施しました。ベースアップ実施は設立当初から初めて実施したものです。

また、上期賞与については、介護保険事業費補助金（介護人材確保・職場環境改善等事業）を利用して正職員で+0.2カ月（1.3カ月を1.5カ月）の上乗せ、パート職員については+10%の加算を実施しました。加えて、パート職員の時給も令和7年10月より単価を50円引き上げました。職員処遇の改善にしっかり取り組みました。

2 建物・設備機器について

設備機器については施設開設以後16年経過しており故障が相次いで発生しました。その都度修理対応していますが、部品によっては交換ができないものもあり都度更新を行いました。

また、特殊浴槽については、競輪とオートレースの補助事業を利用した更新手続きにより申請が採択され、令和7年度事業として特殊浴槽の入替を実施しました。新しい特殊浴槽により職員の負担も軽減されました。

3 人材の確保について

新規採用面では、上越地区各高校及び長岡地区、新潟地区の専門学校、福祉関係大学への採用活動やハローワーク主催の福祉分野求人説明会等へ出席するなど精力的に取り組みました。

また、人材紹介会社経由、ハローワーク経由、職員の知人等あらゆるチャネルから情報収集し採用活動の取組みを継続しました。しかし、依然として人手不足の状況は変わりませんでした。

こうした状況下、人手不足の緩和に向けて、外国人介護人材の採用に踏み切りました。

登録支援機関の(株) リボーンをサポートにより、2名の採用内定者を決めました。その後、最終面接のため施設長がネパールを訪問し、採用内定者2名と直接面接を実施して正式に採用しました。

ネパール女性2名は、令和7年8月に入国後、登録支援機関の(株) リボーンによる研修を受けて、令和7年9月15日から当施設にて勤務しています。令和8年3月現在、配属ユニットのリーダーからはよく頑張っているなど良い評価を受けています。

ブナの里の職員全員にも外国人受け入れ研修を実施し、チームの一員として暖かく迎え寄り添いながら、” チームブナの里” として入居者様へ安心・安全な質の高いサービスの提供に注力しています。

4 健康経営推進企業としての取組

昨年と同様にブナの里の健康診断での職員の健康状況(事業所カルテ)の開示と隔月での“食事と口腔ケア”のパンフの掲示及び”健康瓦版”の発刊などにより職員の健康意識の醸成に取り組みました。

事業所カルテ(R7/9月)では、高血圧リスク保有率が前年46.5%であったものが2.9%改善し43.6%となりました。しかし、全国平均は42.0%でまだまだ高い水準です。引き続き職員へ健康意識を高めるべく取組を継続します。

以上